



〈たわみ制御プロファイル〉を採用し省燃費性能をさらに向上!

ミニバン専用のプレミアム低燃費タイヤ〈ブルーアースRV-01〉のサイドプロファイル技術を採用し、タイヤサイドの「たわみ」を適正化。それにより、エネルギーロスを抑え、ころがり抵抗を低減。省燃費性能の向上に配慮されている。また、スタッドレスタイヤに起こりがちな「ふらつき」を抑え、剛性感も向上している



SUV用スタッドレスタイヤ

GEOLANDAR I/T-S
ジオランダーI/T-S

《アイスガードファイブ》同様に、「氷に効く」、「永く効く」、「燃費に効く」を謳う新・温度対応のSUV用スタッドレスタイヤ。(ジオランダー)史上最高の氷上性能を保有する



IN側で氷上性能、OUT側で雪上性能を発揮する〈非対称パターン〉

《アイスガードファイブ》は、タイヤのイン側とアウト側で異なるブロックパターンを持つ〈非対称パターン〉を採用。イン側には、低速で走行する氷上で有効になるように大きな接地面積を確保。サイプの密度を高めることで氷上でのエッジ性能を稼ぎ、氷上摩擦力を向上させている。氷上よりも走行速度が速くなる雪上での走行を考え、アウト側には大きな溝を配備してエッジ力を確保。また、同時にシャープベット状の雪道、ウェット路面、ドライ路面での操縦安定性と剛性感を高めている

洞の大きさを最適化することで吸水効率がアップ。さらにマイクロ単位で分散した〈吸水ホホワイトゲル〉が、除去しきれない水膜を吸水。このふたつの効果で従来の〈ヘトリプル吸水ゴム〉比で約21%吸水効率を高めている。また、タイヤのイン側の接地面積を大きくし、サイプ密度を高めた非対称パターンを採用し、氷上のグリップ力とエッジ効果を高めている。

さらに、《アイスガードファイブ》の特徴として「永く効く」ことが挙げられる。一般的なスタッドレスタイヤは低温時のゴムの柔らかさを保つためにオイルが配合されている。しかし、オイルは時間の経過とともに揮発してタイヤから抜けてしまい、タイヤの硬化が進んでしまうのだ。それに対し、《アイスガードファイブ》は、オイルに比べて分子が大きくてタイヤから抜けにくい〈ブラックポリマーII〉を採用。新開発の〈吸水ホホワイトゲル〉を組

み合わせることで、低温時のゴムの柔らかさがさらに持続。約4年経過しても高レベルの氷上摩擦指数を維持。従来品(アイスガードトリプルプラス)と比較すると、低下割合は3分の1程度に抑えられている。また、「燃費に効く」という点では、ミニバン専用プレミアム低燃費タイヤ《ブルーアースRV-01》のサイドプロファイルを採用していることも特徴。タイヤサイドの「たわみ」を適正化することで、エネルギーロスを抑え、氷上性能はそのままだに、転がり抵抗を低減させている。また、横方向に「剛性」を持たせることで、スタッドレスタイヤに起こりがちな「ふらつき」を抑制。さらなる省燃費性能の向上につながっている。

「氷に効く」「永く効く」「燃費に効く」という3拍子そろった《アイスガードファイブ》。雪上に向かう過酷な道中は、そんな信頼を置けるタイヤに足元を支えてほしい。



Impression

一般社団法人 障害者スキー振興協会
津川朋也さん



信頼できるタイヤを履いていることが、疲労感の軽減につながる!

一般社団法人障害者スキー振興協会は、どのような障害があっても「いつでも、どこでも、誰でも」スキーを楽しめる環境を整備することを目標に活動しています。しかし、現状ではそのような環境にはありません。そこで、一般のスキースクールでも障害者スキーのレッスンを提供できるように、指導のノウハウの享受や器具の貸し出し、そして受講生ひとりひとりに合ったレッスンなどを専門的な視点からアドバイスしています。ヨコハマさんにはそんな協会の活動に不可欠なスタッドレスタイヤのサポートなどの支援をいただいています。スキー場に向かう道中にはさまざまな路面があります。そんな過酷な道中で何よりも頼りになるのは、どんな路面でも安定して走り、曲がり、止まること。私自身、シーズン中はヨコハマ《アイスガードファイブ》で安心感をもって運転することができました。ただでさえ緊張する冬道の運転。そんなときに信頼の置けるスタッドレスタイヤを履いていることは、気持ちのゆとりを生み、疲労感の軽減につながります。

Close up 最新スタッドレスタイヤ

YOKOHAMA
ヨコハマタイヤ

氷に、永く、燃費に3つの「効く」を備えたYOKOHAMAの最高傑作

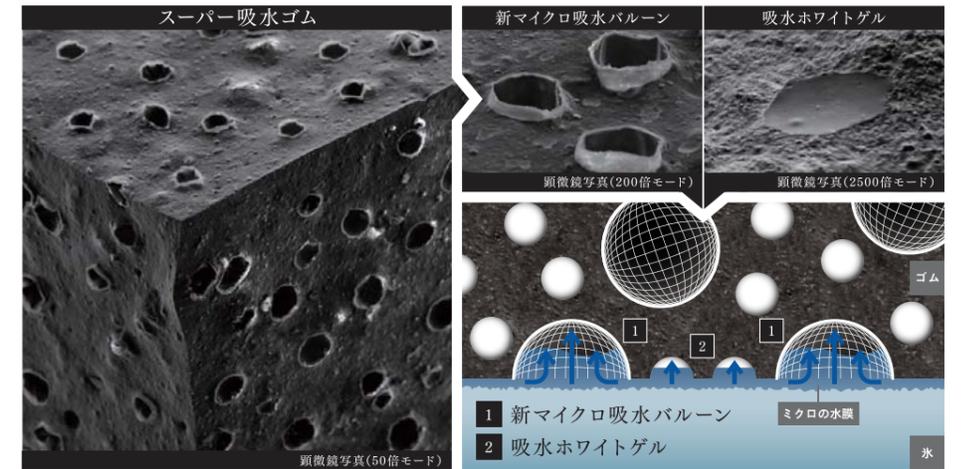
アイスガードファイブ
iceGUARD 5 FIVE IG50



横浜ゴム株式会社
タイヤお客様相談室
0120-667-520
受付時間: 9:00~17:00 (月~金)
http://www.iceguard.jp/

雪山やスキー場に向かう道中には、乾燥路や雪道、アイスバーンなど、さまざまな路面が待ち受けている。そこでスタッドレスタイヤに求められる性能は、凍結路を安全に走行し、止まることだ。そんな至上命題に対して、ヨコハマの技術を惜しみなく投じて開発されたスタッドレスタイヤが《アイス

ガードファイブ》だ。ひとえにアイスバーンと言っても、密度の高い雪が凍結した「圧雪アイスバーン」や、一見ただけでは濡れただけの路面に見える「ブラックアイスバーン」など、さまざまな状態が存在する。そんなあらゆる凍結路に対して、《アイスガードファイブ》は同社



ヨコハマ スタッドレス史上最高のコンパウンド〈スーパー吸水ゴム〉

ヨコハマのスタッドレス史上最高と謳われるコンパウンドが〈スーパー吸水ゴム〉だ。〈新マイクロ吸水バルーン〉①は空洞の大きさが最適化され、吸水率がアップ。さらに、新素材の〈吸水ホホワイトゲル〉②が、除去しきれない水膜を吸水する。そのほか、タイヤを氷表面に密着させる密着効果や、マイクロレベルでタイヤが氷路面を噛むエッジ効果も発揮する

摩耗指数の経時劣化シミュレーション

《アイスガードファイブ》ではコンパウンドに「ブラックポリマーII」に加えて「吸水ホホワイトゲル」を配合。素材を工夫することでコンパウンドのなかのオイル分を抜けにくくすることに成功。同社の従来品スタッドレスと比較した場合、約4年経過した場合でも氷上摩擦指数の低下を約3分の1に抑え、より永く効果を持続させることを可能にしている

